

補助事業番号： 22-1-021

補助事業名： 平成 22 年度 自転車競技の振興・育成 補助事業

補助事業者名： 財団法人 日本自転車普及協会

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

#### ア. ツアー・オブ・ジャパンの開催に関する事業

自転車を通じて青少年の国際交流と国民体育の向上に寄与することを目的とする。

#### イ. 自転車競技等の広報活動に関する事業

「自転車月間」及び「ツアー・オブ・ジャパン」の周知浸透を図ることを目的とする。

### (2) 実施内容

#### ア. ツアー・オブ・ジャパンの開催に関する事業

青少年の国際交流と自転車競技の普及を図ることを目的に、UCI（国際自転車競技連合）公認のステージレース「第 14 回ツアー・オブ・ジャパン」を開催した。レースは、堺ステージをスタートして東京ステージにゴールするまでの全 7 ステージ（堺・奈良・美濃・南信州・富士山・伊豆・東京）で実施。国内外 16 チーム 96 名が参加する、我が国最大級規模の大会となっている。

また、一般市民の自転車競技者育成のため、東京ステージ開催に併せて「ツアー・オブ・ジャパン市民 ロードレース」を実施したほか、他のステージでは地元市民を含めたパレード走行等の各種イベントも併せて実施するなど、広く自転車競技を普及するための取り組みも行っている。

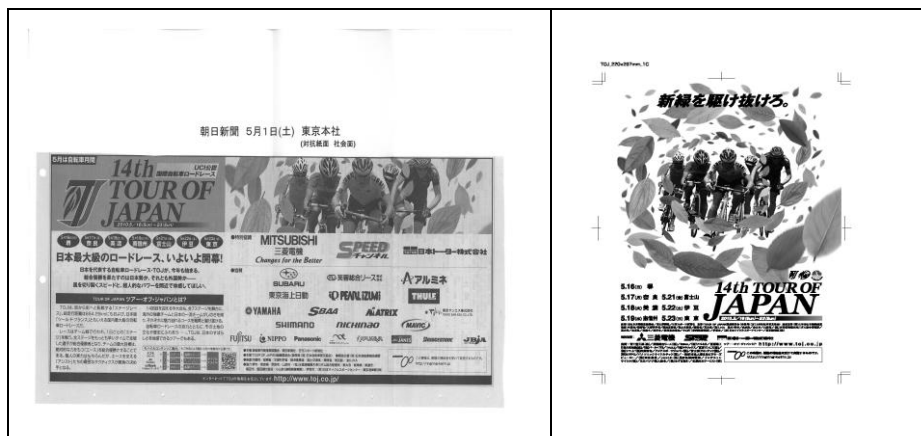
こうした取り組みにより、地元に着した国際自転車レースとしての高い評価を受けており、自転車競技の普及発展に大きく貢献している。

さらに、ツアー・オブ・ジャパンを円滑に実施するための打ち合わせを行い、国際自転車競技連合公認大会の開催へ向けた作業が実施できた。



## イ. 自転車競技等の広報活動に関する事業

ツアー・オブ・ジャパンに関し、新聞、テレビ等を通じて全国的に広報を行うことにより、ツアー・オブ・ジャパンの一般への浸透を図り、もって国民のサイクルスポーツへの理解、認識を深めた。



## 2. 予想される事業実施効果

### ア. ツアー・オブ・ジャパンの開催に関する事業

ツアー・オブ・ジャパンの実施により、国民の自転車についての関心を呼び起こすとともに、自転車のスポーツ性への認識が高まり、サイクルスポーツの競技人口の増加が期待できる。また、次年度のツアー・オブ・ジャパンの開催にあたり、国際自転車競技連合規則に適合した、より高度なコース設定が出来るものと予想される。

## イ. 自転車競技等の広報活動に関する事業

新聞、テレビ等を活用した広報の結果、ツアー・オブ・ジャパンがより一層浸透し、自転車のスポーツ性に対する一般の理解が深まるとともに自転車競技人口の増加が期待できる。また、テレビによる番組提供等により、広く自転車競技のスポーツ性、娯楽性がPRされ、今後より一層のサイクルスポーツの普及等、自転車競技の振興が予想される。

## 3. 本事業により作成した印刷物等

TOJ	B2告知ポスター	2,300部
TOJ	A4チラシ	13,000部
TOJ	プログラム	13,000部
TOJ	東京ステージ交通規制チラシ	61,000部
TOJ	東京ステージ交通規制ポスター(バス)	296部

TOJ 東京ステージ駐車禁止ポスター

120部

TOJ 報告書

1,500部

		
ポスター	チラシ(表)	チラシ (裏)

		
プログラム	規制チラシ	規制ポスター (バス)

	
駐車禁止ポスター	報告書 <a href="http://www.bpaj.or.jp/report/14thtohoukokusho.pdf">http://www.bpaj.or.jp/report/14thtohoukokusho.pdf</a>

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人 日本自転車普及協会(ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)

住所： 107-0052

東京都港区赤坂 1-9-3

代表者名： 会長 阿部 毅一郎(アベ キイチロウ)

担当部署： 事業部

担当者名： 部長 山本 耕治(ヤマモト コウジ)

電話番号： 03-3586-3278

F a x : 03-3586-9782

E-mail : [jifukyo@jifu.jp](mailto:jifukyo@jifu.jp)

U R L : <http://www.bpaj.or.jp>